

2023年5月15日

各位

会社名	株式会社エクサウィザーズ
代表者名	代表取締役社長 春田 真 (コード番号：4259 東証グロース)
問合せ先	コーポレート統括部長 前川 智明 (Tel: 03-6453-0510)

ChatGPTの企業向けサービス「exaBase 生成 AI powered by GPT-4」のサービスを開始

当社は、企業向けの生成・対話型 AI サービス「exaBase 生成 AI powered by GPT-4」を本日より正式に提供を開始しました。2023年4月26日に本サービスについて発表し予約受付を開始したところ、多くの予約申し込みやお問合せをいただきました。このたびサービス開始の準備が整いましたので、料金体系とともに発表しました。

exaBase 生成AI powered by GPT-4（以下、exaBase 生成AI）は、法人利用における「ChatGPT」の課題とされているセキュリティの確保やコンプライアンス遵守に関する独自機能を標準で搭載していることに加えて、基本料金は月額900円（税別）・1000文字当たりの従量課金を1円から（同）と、安心・安全かつお手軽にご利用いただけます。

1. 事業の趣旨

ChatGPTは米OpenAI社が開発し提供する生成・対話型AIのサービスで、2022年11月末の提供開始からAIの利用を促進する新基軸として注目を集めています。簡易なユーザーインターフェースにプロンプトと呼ばれる指示を入力するだけで、インターネットなどから膨大な知見を学んだAIの生成結果をチャット形式ですぐに得ることができます。

一方、企業や官公庁などのユーザーがChatGPTを利用する場合、入力された情報がChatGPTのAIモデルの最適化に利用される可能性がある規約であること^{注1}や、ユーザーが入力するプロンプトや利用状況の適切な管理ができないなどの課題があります。斯様な情報管理リスクへの懸念から、企業や官公庁においては使用の禁止や、導入の見送りが行われているケースが少なくありません。

当社は、金融／保険、製造／産業財、消費財、ヘルスケア、通信／インフラ、エネルギー、人材、物流など、多種多様な業界において、日本を代表する企業顧客を有しております。当社では、それらの企業経営層との建設的な対話を通じ、セキュリティとコンプライアンスに配慮した生成・対話型AIサービスの利用に対するニーズの高まりを認識しておりました。このようなニーズに応えるかたちで、当社はChatGPTをベースとして安心・安全に利用できるexaBase 生成AIを独自に開発しました。

ユーザー企業は自社独自のセキュリティ水準やコンプライアンスのルールに則った形で生成・対話型AIサービスの運用が可能となります。回答を生成するAIモデルとしては最新版の「GPT-4」を利用でき、高い精度が期待できます。

(注)

1. Webブラウザからの利用の場合

2. 新たな事業の概要

exaBase 生成AIは独自のユーザーインターフェースを提供することで、OpenAIの生成・対話型AIサービス

ChatGPT を容易かつセキュアに利用いただけます。

【ユーザーの機能】

- ・ **対話履歴の参照**
 - ・ 直感的でわかりやすい画面でプロンプトを入力し、対話の履歴を過去にわたって参照できます。
- ・ **複数の AI モデルの利用**
 - ・ ChatGPT の AI モデルである GPT-4 と GPT-3 の切り替えが可能です。GPT-4 の方が精度が高いとされていますが、GPT-3 の方が安価でレスポンス早く利用でき、用途に合わせて選択が可能です。
- ・ **ユーザーID・パスワード設定不要**
 - ・ 企業内のディレクトリーサービスと連携させることでシングルサインオンが可能で、exaBase 生成 AI 上でユーザーが ID やパスワードを個別に設定する必要がありません。

【管理者アカウントの機能】

- ・ **禁止ワードや機微情報の入力を阻止**
 - ・ 社内の機密情報が社外に漏洩しないよう、入力禁止ワードの設定、機微情報の検知という 2 つの安心機能が利用できます。管理者が設定した禁止ワード、銀行口座やマイナンバーカードなど特定の重要情報をプロンプトとして入力されたらと判断した場合は、データの送信がされません。
- ・ **チャット履歴の蓄積・活用**
 - ・ ユーザーの入力したプロンプトと返信のチャット履歴は 6 か月間蓄積され、企業内の管理者が確認可能です。利用例の中から効果の高いプロンプトを入力しているケースを見いだすといった用途にも利用できます。
- ・ **ユーザーの ID・利用ログ管理**
 - ・ 個人やグループなどの単位で利用動向をレポート形式で出力。活用が不十分な場合の利用促進、コストのコントロールのために利用の上限額の設定根拠として活用できます。上限は契約企業単位で設定可能です。

(注)

2. 当社は OpenAI と API での利用契約をしているため、ユーザー企業の利用者が入力するプロンプトのデータは AI の学習用データとして利用されることはありません (OpenAI は管理のためデータを 30 日間保有します)
3. トライアル期間中は、禁止ワードの設定や履歴の確認などで機能に制限があります

3. 事業の開始期日および売上計上セグメント

2023 年 5 月 15 日 (本日) より、事業を開始し、今後本事業の売上高は AI プロダクト事業に計上されます。

4. 当該事業開始のために特別に支出する金額及び内容

現時点において特別に支出する予定はなく、通常の事業運営の中で進めてまいります。

5. 今後の見通し

現在精査中ですが、中長期的に当社の業績向上に資するものと考えています。合理的な算定が可能となり、また業績に重要な影響を与えると判明した場合には、速やかに開示します。

(参考) 当期連結業績予想 (2023 年 5 月 11 日公表分) 及び前期連結実績

(百万円)

	連結売上高	連結営業利益
当期連結業績予想 (2024 年 3 月期)	7,000	△370
前期連結実績 (2023 年 3 月期)	5,591	△378

以 上